

2 0 1 8 年 8 月 2 9 日

日 本 銀 行

月例経済報告等に関する 関係閣僚会議・資料

—— 最近の金融市場の動き ——

1. 強力な金融緩和継続のための枠組み強化

2%の「物価安定の目標」の実現には、時間がかかる
需給ギャップがプラスの状態をできるだけ長く続けることが適当



強力な金融緩和を粘り強く続けていく

政策金利に関するフォワードガイダンス

「日本銀行は、2019年10月に予定されている消費税率引き上げの影響を含めた経済・物価の不確実性を踏まえ、当分の間、現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することを想定している。」

→ 「物価安定の目標」実現に対するコミットメントの強化

「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の持続性強化

長期金利：「ゼロ%程度」の操作目標を維持。その際、金利は、
経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうる。

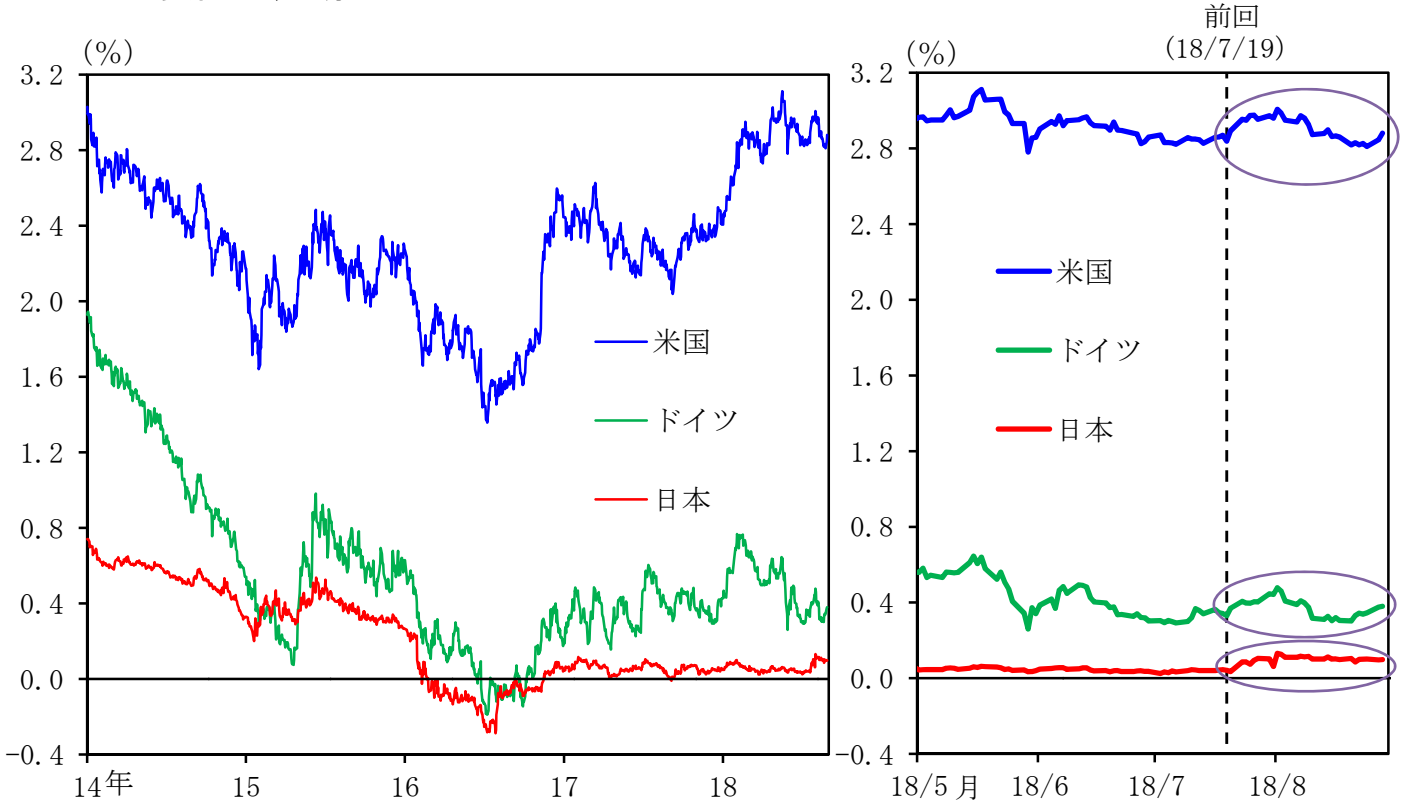
ETF買入れ：「約6兆円」の残高増加目標を維持。その際、買
入れ額は、市場の状況に応じて上下に変動しうる。等



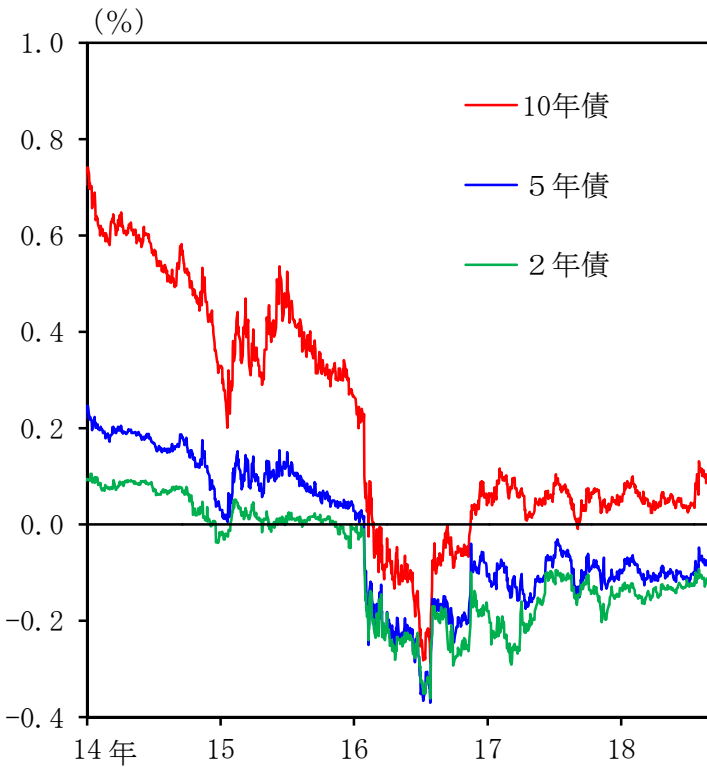
経済や金融情勢の安定を確保しつつ、2%の「物価安定の目標」をできるだけ早期に実現

2. 長期金利

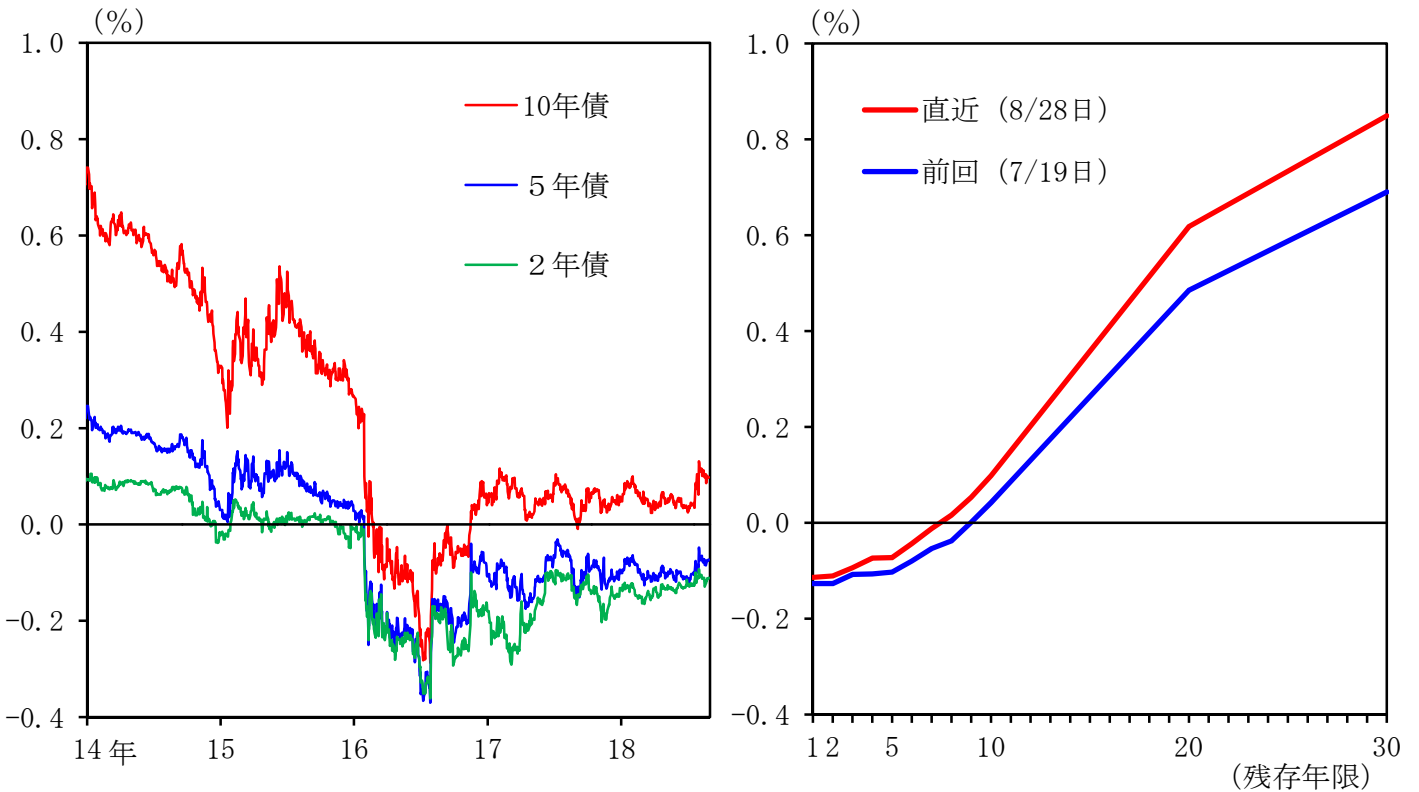
(1) 主要国の長期金利



(2) 日本国債利回り

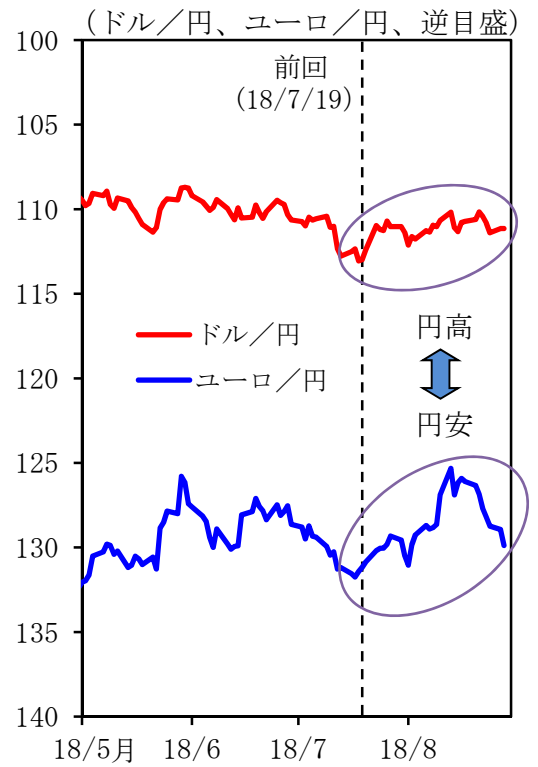
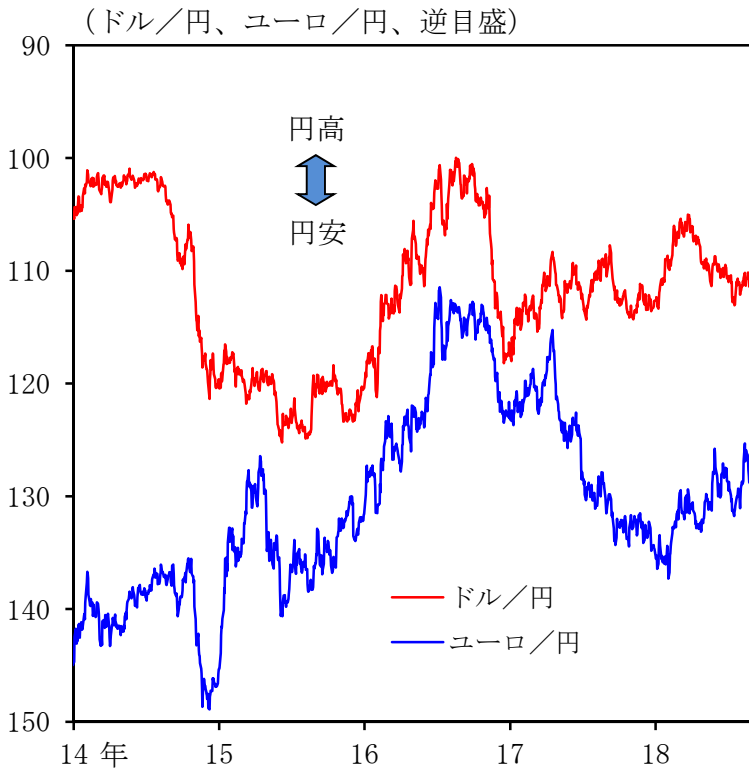


(3) 日本国債イールドカーブ

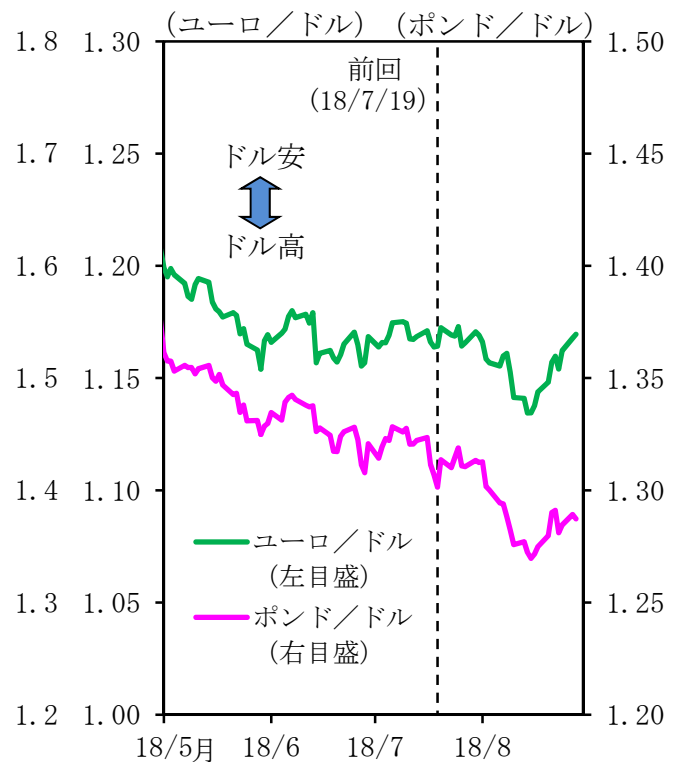
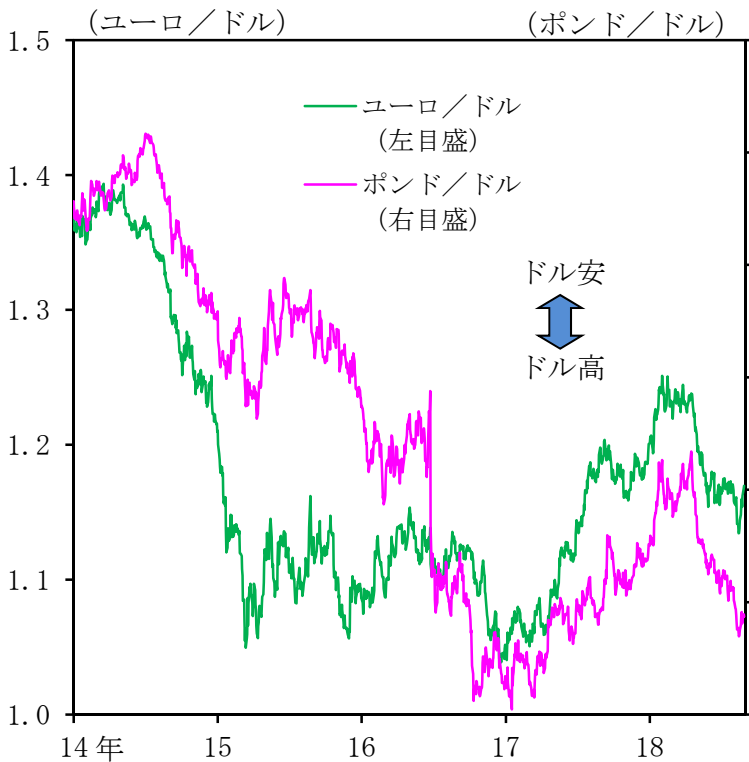


3. 為替相場

(1) ドル円、ユーロ円相場

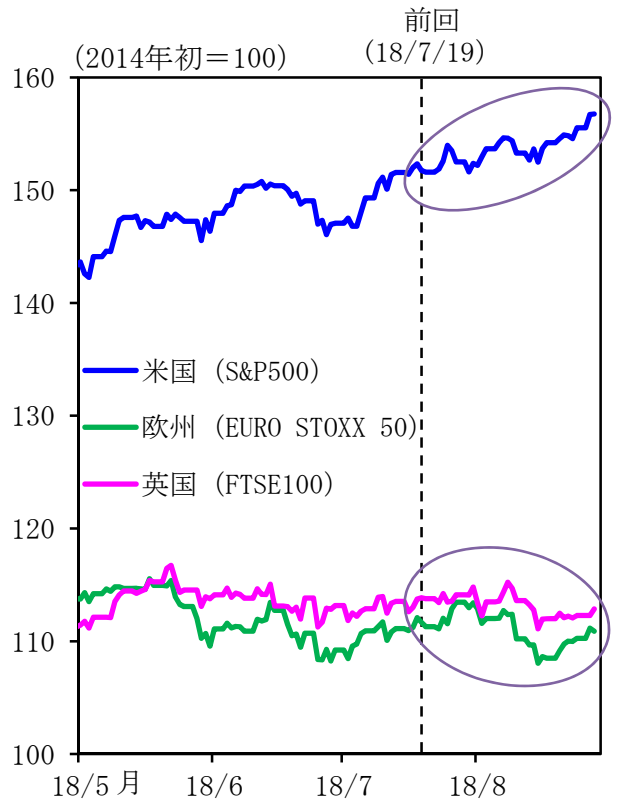
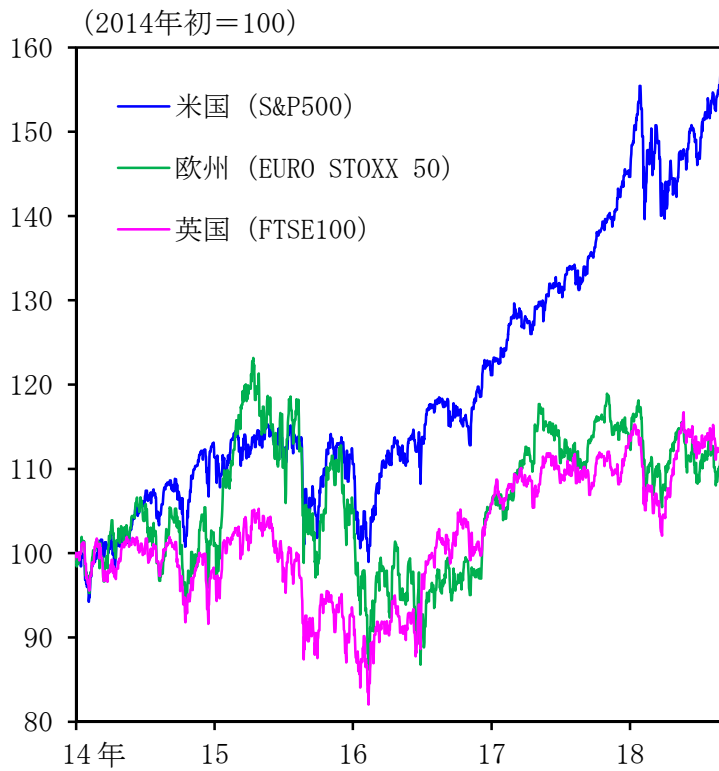


(2) ユーロ、ポンド相場

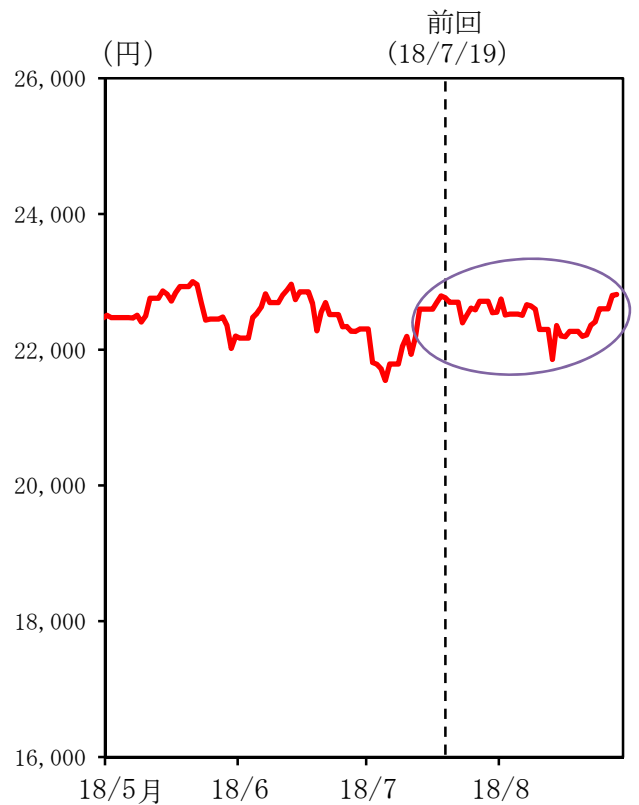
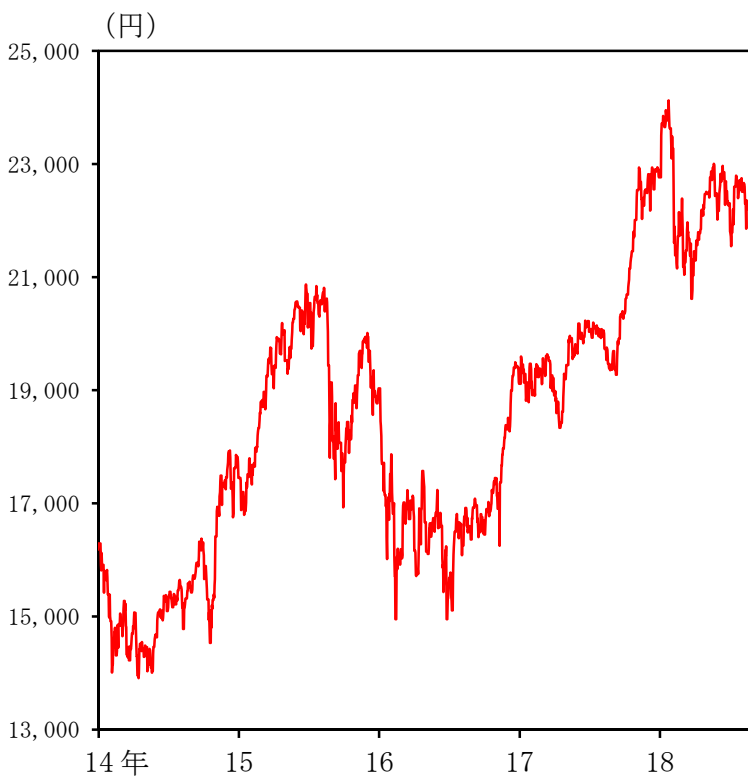


4. 株価

(1) 主要国の株価

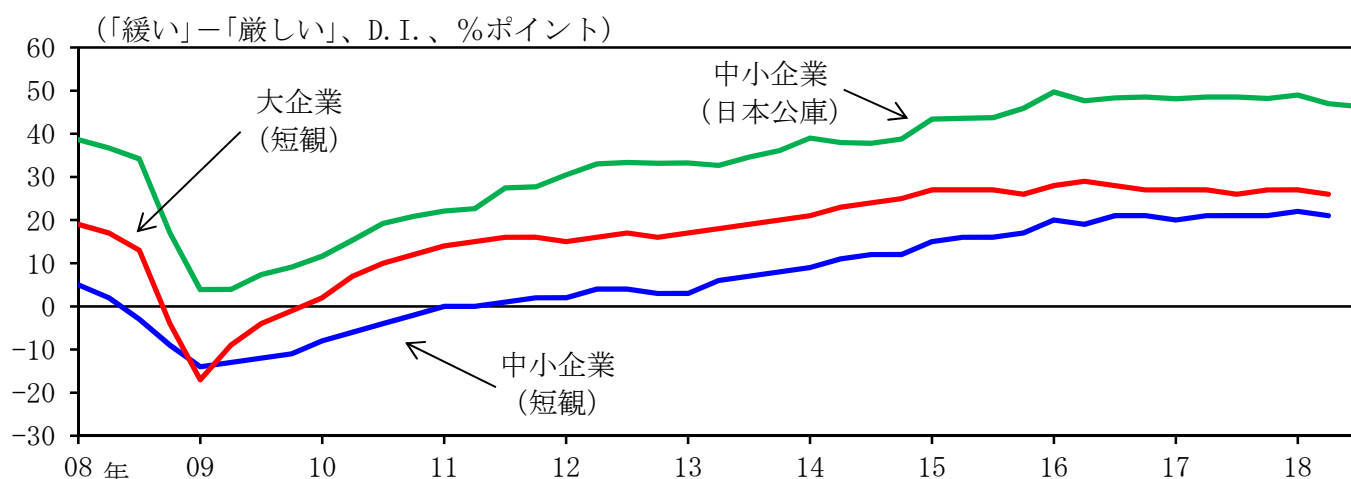


(2) 日経平均株価

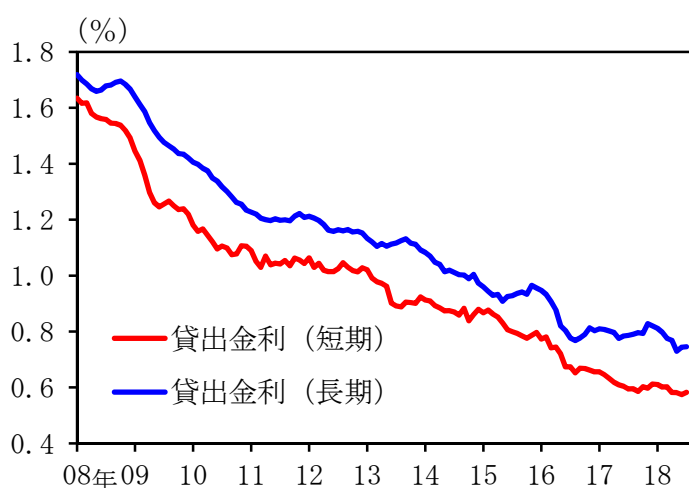


参考. 国内の金融環境

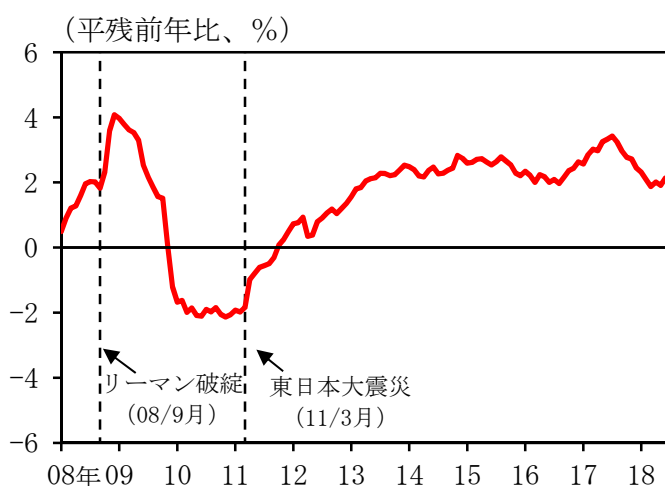
(1) 企業からみた金融機関の貸出態度



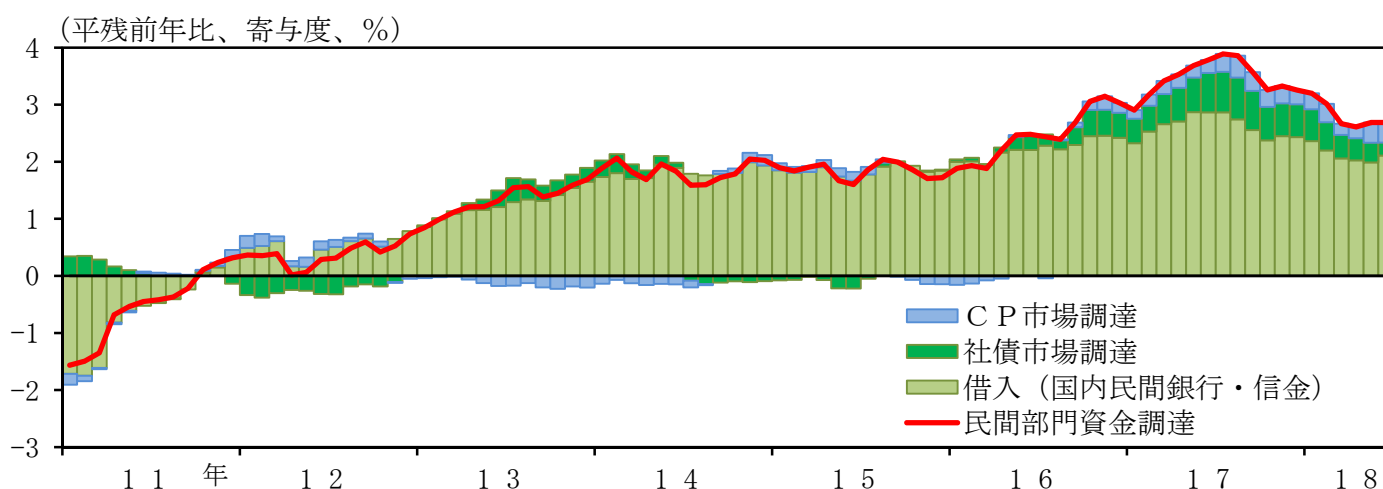
(2) 貸出金利



(3) 民間銀行貸出残高



(4) 民間部門資金調達



- (注) 1. (1) の日本公庫のD.I.は「緩和」-「厳しい」。
 なお、2018/3Qの日本公庫のD.I.は7月の値。
 2. (2) は、貸出約定平均金利 (国内銀行、新規実行分) の後方6か月移動平均値。
 3. (3) の貸出残高には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。
 4. (4) の国内民間銀行の借入は特殊要因 (為替要因等) 調整後。
 (資料) 日本政策金融公庫、日本銀行、証券保管振替機構、アイ・エヌ情報センター